

第 3 次鴨川市総合計画策定に伴う「将来都市像」の検討

（１）設定にあたっての考え方

将来都市像は、本市が目指す姿を示すものであり、本市のまちづくりの象徴となるものです。

このため、本市の強みや課題を踏まえ、政策全体の方向性を伝えるような表現も重要ですが、市民にとって、目指しているまちの姿をイメージしやすくなるように、親しみやすく、将来に向けた希望とまちづくりに向けたメッセージ性をもつことも必要と考えます。

また、計画策定後も計画書の中だけではなく、これから 10 年間のまちづくりのなかの様々な場面で使用されることも留意しなければなりません。

（２）変更の必要性

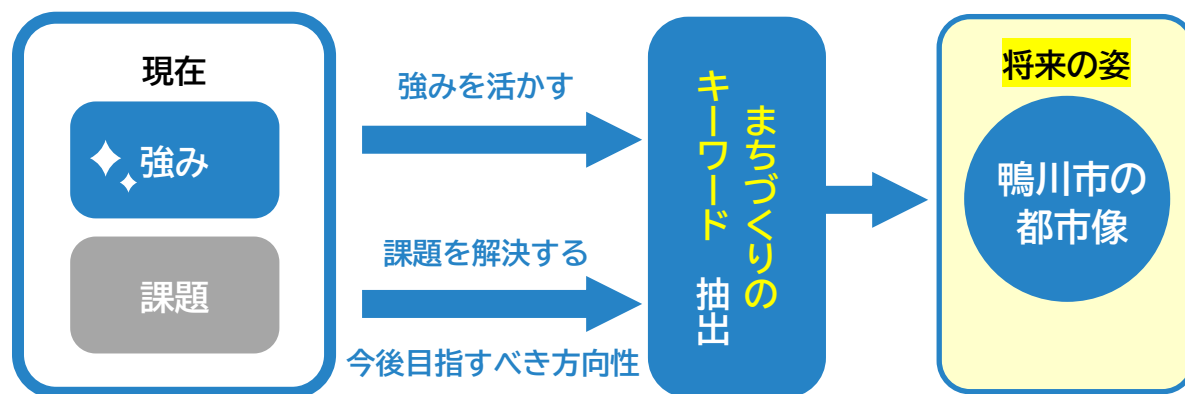
「第 2 次鴨川市基本構想」（期間：平成 28 年度～令和 7 年度）では、「活力あふれる健やか交流のまち鴨川～みんなが集い守り育む 安らぎのふるさと～」を将来都市像として掲げていました。しかし、この 10 年間で本市を取り巻く環境も大きく変わっていることから、改めて実現させるべき鴨川市の将来像を検討することが必要です。

（参考）第 1 次鴨川市基本構想における将来像（期間：平成 18 年度～平成 27 年度）

「自然と歴史を活かした観光・交流都市 ーみんなで創る光り輝くふるさとを目指してー」

（３）検討方法

市民アンケート調査結果における「市の強み」や「市が今後目指すべきまちづくりの方向性」の自由記述、市長の政策方針による「まちづくりの方向性」等から、まちづくりのキーワードを抽出し、それらをもとに将来都市像案を作成しました。



(4) 将来都市像（案）

案1

健康と観光の融合都市 自然と共に生きるウェルネスタウン鴨川

本市が誇る美しい海と山々、そして温暖な気候を背景に、地域住民と来訪者がともに健康で充実したライフスタイルを送る都市モデルを創出します。医療・福祉・観光・農業など多分野の連携を通じて、“癒し”と“活力”を提供する次世代型ウェルネスタウンを構築。自然と調和した暮らしの中で、地域経済の活性化と住民の QOL（生活の質）向上を両立させます。

全国的に人口減少が進む中、棚田オーナー制度のような“関係人口”が支える新しい地域コミュニティを構築し、豊かな自然資源と地域特性を最大限に活かし、心と体の健康を育む持続可能なまちづくりを目指します。

- ・ 温暖な気候や海・山の自然環境、鴨川シーワールド、棚田など観光資源が豊富
- ・ ホテル、旅館、ペンション、民宿、農家民泊など多様な宿泊施設も充実
- ・ 「医療と観光」を掛け合わせたヘルスツーリズムや、運動施設を活用したスポーツツーリズムなど形も様々
- ・ エ芸品づくり、太巻祭り寿司、農業や船釣りの自然体験、遊覧船、座禅、サーフィンなど文化や自然を活かした体験プログラム

※類似案

- ・ 海・里・人が響き合うウェルネス交流都市 鴨川
- ・ 心と身体が整う自然共生都市～ウェルネスライフの発信地・鴨川～
- ・ 癒しと活力が循環するウェルネス都市 鴨川
- ・ 自然・歴史・健康が織りなすスローライフ都市 鴨川
- ・ 持続可能な暮らしと癒しの拠点～海と山のウェルビーイング都市 鴨川～
- ・ 五感で癒される海辺のリトリート都市・鴨川

人がつながり、地域が進化し、自然が息づく鴨川

※親しみやすく、具体的な施策よりもイメージ重視の表現

少子高齢化・人口減少が進むなか、人と人との出会い、つながり、支え合うことで地域に活気が生まれ、誰もが安心して暮らせる社会が育まれていきます。また、本市の強みである観光や医療保健などといった地域の産業が持続的に発展することで、これからも鴨川で働き、暮らし続けられる環境が整います。

自然環境を守りながら、その恵みとともに生きるまちを継承していくことも私たちの使命です。自然との共生を大切にし、次の世代に美しいふるさとを引き継ぐまちづくりを進めていきます。

鴨川市は、人と人とのつながりを大切にして、地域の活力を高めながら、自然と共に生きる、人・地域・自然が調和した持続可能なまちを目指します。

※類似案

- ・つながりが生まれ、地域が成長し、自然が息づく持続可能なまち 鴨川
- ・人と自然が共に息づき、地域の活力が循環するまち・鴨川
- ・地域経済の発展と持続可能な社会の実現
- ・地域に活力を生み、人と自然が共に息づくまち
- ・地域の成長が人との絆と自然の営みを支えるまち
- ・暮らし、働き、学び続けられる、ひとにやさしいまち・鴨川
- ・地域経済の活力を高めるまちづくり

潮風にのって 夢ふくらむまち ここかも。鴨川

※案2より、よりキャッチーで鴨川らしさを感じる表現

太平洋から吹く潮風のように、地域に新たな風を呼び込んだり、本市の強みである自然や観光を活かした地域の活性化を図り、市民一人ひとりの夢や地域の挑戦が広がっていく未来への希望が込められています。「ここかも。」という言葉は、訪れる人や市民に呼びかけ、鴨川市に住む人、訪れる人が途切れることないまちを意味します。

鴨川市は、地域資源を活かして地域の活性化を図り、夢を育みながら人に選ばれる持続可能なまちを目指します。

※類似案

- ・ 自然と地域の力で未来を拓くまち、かも。
- ・ 海とともに、仕事も暮らしも輝くまち、かも。
- ・ ふるさとして、こういう場所かも。
- ・ 夢を力に、鴨川の未来を拓く
- ・ カモしれないを、かたちにするまち
- ・ 小さなカモも、地域の力に
- ・ 「かも」が集まり、かたちになるまち

※カモを可能性に置き換えて、挑戦や夢の実現性を示す

- ・ 夢がカモうまち 鴨川 ※叶う（カモウ）